

### 1. 学習計画

#### ●水の中の生き物……………総5時間

- 1 水の中の小さな生き物の観察…………… 1時間
- 2 アクアマリンで調べよう…………… 3時間
  - (1) マイクロアクアリウムで海水中のプランクトン観察
  - (2) プランクトンを採集する
  - (3) 海産性プランクトンを顕微鏡で観察する
- 3 プランクトンは何に役立っているのか考え発表する…………… 1時間
  - プランクトンがいなくなったらどうなるか考える
  - プランクトンが増えすぎたらどうなるか考える

### 2. 指導過程

学習単位	個人	班	クラス	全体	研修室	要	不要	職員	要	不要
------	----	---	-----	----	-----	---	----	----	---	----

#### 1 学習テーマ

「アクアマリンで調べよう」

#### 2 ねらい

プランクトンを採取し、海産性のプランクトンを観察するとともに、海の中での食物連鎖の基底を理解させる。

#### 3 活動計画……………3時間

時間(分)	内 容
15	1 オリエンテーションの実施 ○諸注意を聞く。 ○プランクトンの説明を聞く。 ○マイクロアクアリウムでの観察のポイントを聞く。
60	2 自由に見学する ○班単位になって自由に見学する。 ○海にすむさまざまな生き物を観察する。
60	3 プランクトンの観察・実験 ○プランクトンの採取方法について説明を聞く。 ○顕微鏡を準備する。 ○プランクトンを採取する。 ○顕微鏡で観察し、スケッチをする。 ○海中でのプランクトンの役割を考える。 ○小名浜港で見られるさまざまなプランクトンの映像を見る。
15	4 学習のまとめ ○観察したものを発表する。

### 3. 参考資料

#### ■使用可能教材

- VTR「プランクトンと魚」……………10分
- VTR「水中の微小生物」……………10分
- プランクトン採集用具一式(プランクトンネット等)
- 生物顕微鏡15台
- 双眼実体顕微鏡15台

#### ■資料掲載頁

P49